

診療のご案内

診療科目	診療時間	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		医師名	専門外来	医師名	専門外来	医師名	専門外来	医師名	専門外来	医師名	専門外来
内科 (予約制)	9:00~11:00	松本 都 谷口陽介 山田健嗣 黒田 豊	消化器内科 循環器内科 脳神経外科 腎臓内科	野村基子 森田和子 北川友通 丹治英明 荻原莉恵 森 穂波	呼吸器内科 神経内科 脳神経外科 腎臓内科 (CAPD外来)	松本 都 小森健二朗 吉田昌史 吉田奈々絵	消化器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 循環器内科	菅原養厚 進士弥央 田中 博 吉田昌史 森田和子	循環器内科 糖尿病内科 呼吸器内科	黒木昌寿	糖尿病内科
	14:00~16:00	川上 務 山田健嗣 黒田 豊	呼吸器内科 脳神経外科 腎臓内科	野村基子 荻原莉恵 吉田奈々絵	肺癌2次 糖尿病内科 循環器内科	齊藤一美 森 穂波 木本瑞穂 牧 尚孝	消化器内科 腎臓内科 糖尿病内科 循環器内科	菅原養厚 進士弥央 田中 博 森田和子 睦好祐子	循環器内科 呼吸器内科 腎臓内科	松本 都 森 穂波 黒木昌寿 森 穂波 山下博史	消化器内科 腎臓内科 糖尿病内科 腎臓内科 神経内科
初診外来	9:00~11:00	黒木昌寿 森 穂波 吉村一樹	初診外来	黒田 豊 菅原養厚 黒木昌寿	初診外来	黒田 豊 吉野 望 小熊妙子	初診外来	黒木昌寿 黒木昌寿 河村匡捷	初診外来	黒田 豊 吉田奈々絵 山下博史	初診外来
小児科	9:00~11:00	中村明夫 加賀文彩 百村芽衣	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 笠神崇平	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 百村芽衣	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 百村芽衣	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 笠神崇平	小児科一般
	15:00~16:00 予約制	中村明夫 加賀文彩 笠神崇平	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 笠神崇平	小児科一般	中村明夫 加賀文彩 笠神崇平	小児科一般			加賀文彩 笠神崇平	小児科一般
	15:00~16:30 予約制					中村明夫 臨床発達心理士 (第1,第3)	生活習慣病 カウンセリング (第1,第3)			占部良介	小児神経 (第1,第3)
	予約制	予防接種(13:30~14:30)		乳幼児健診(13:30~14:30)		乳幼児健診(13:30~14:30)		予防接種(13:30~14:30)		乳幼児健診(13:30~14:30)	
外科	9:00~11:00	植松武史 塩川洋之	消化器・ 外科一般	神宮和彦 山崎信人	消化器・ 外科一般	塩川洋之 岡田 嶺	消化器・ 外科一般	植松武史 神宮和彦	消化器・ 外科一般	岡田 嶺 山崎信人	消化器・ 乳腺外科
整形外科	9:00~11:00	坂口勝信	整形外科 一般			飯塚秀樹 寺山恭史	整形外科 一般	平沼浩一 伊藤賢太郎	整形外科 一般	東島啓仁	整形外科 一般
	14:00~15:00	坂口勝信 伊藤賢太郎	整形外科 一般	田中伸哉 伊藤賢太郎	整形外科 一般	飯塚秀樹 寺山恭史	整形外科 一般	平沼浩一 伊藤賢太郎	整形外科 一般	田中伸哉 関端浩士	整形外科 一般
皮膚科	9:00~11:00	山田朋子	皮膚科一般	大瀧 薫	皮膚科一般	山田朋子	皮膚科一般	山田朋子	皮膚科一般	大瀧 薫	皮膚科一般
	14:00~15:00	山田朋子	皮膚科一般			大瀧 薫	皮膚科一般	大瀧 薫	皮膚科一般	山田朋子	皮膚科一般
泌尿器科	9:00~11:00	前田重孝 中條 洋	泌尿器科 全般	交代制 中條 洋	泌尿器科 全般	前田重孝 中條 洋	泌尿器科 全般	田中晴郎 前田重孝	泌尿器科 全般	田中晴郎 中條 洋	泌尿器科 全般
婦人科 (予約制)	10:30~12:00 水曜13:30まで	三澤将大	婦人科					堀内 功	婦人科		
	14:30~16:00	三澤将大	婦人科			柴田あずさ	婦人科	西林 学	婦人科	今野 良	婦人科
眼科	9:00~11:30	小池信行 田口 諒	眼科一般	小池信行 田口 諒	眼科一般	小池信行 田口 諒	眼科一般	田口 諒	眼科一般	小池信行 田口 諒	眼科一般
耳鼻 咽喉科	9:00~10:00	澤 井洋	耳鼻咽喉科一般	吉田尚弘	耳鼻咽喉科一般	島崎幹夫	耳鼻咽喉科一般	江洲欣彦	耳鼻咽喉科一般	柳原太一	耳鼻咽喉科一般
	14:30~16:00 予約制	澤 井洋	耳鼻咽喉科一般	吉田尚弘	耳鼻咽喉科一般			江洲欣彦	耳鼻咽喉科一般	柳原太一	耳鼻咽喉科一般
放射線科 (予約制)	9:00~11:00		画像診断		画像診断		画像診断		画像診断		画像診断
	14:00~16:00		MRI・CT予約制		MRI・CT予約制		MRI・CT予約制		MRI・CT予約制		MRI・CT予約制
口腔外科 (予約制)	9:00~11:30 (初診~11:00)	鈴木 茂 林 勝彦	口腔外科 全般	鈴木 茂 押岡弘子	口腔外科 全般	鈴木 茂 高山岳志	口腔外科 全般	鈴木 茂 土屋絵美	口腔外科 全般	鈴木 茂 渡邊豪士	口腔外科 全般
	13:30~16:00	鈴木 茂 林 勝彦	口腔外科 全般	鈴木 茂 押岡弘子	口腔外科 全般					鈴木 茂 渡邊豪士	口腔外科 全般

* 検査・診療予約は、地域医療連携室まで電話かFAXにてご連絡ください。(受付時間 8:30~17:00) (土日祝日休み)
* 時間外診察は、日当直医師に取り次ぎ、出来る限り対処させていただきますが、専門医がいない場合は、お受け出来ない場合もありますのでご了承ください。
* 常勤医師名には黄色のラインを付けています。

▶ 近隣医療機関の先生方へ

当院では先生方ご希望される専門診療科をご案内いたします。その際、最新の担当医表で診療科の日時をご確認ください。
もし患者さんご都合等で、その他の時間帯に受診される場合には、可能な限り当該科の専門診療科医が診察する体制となっておりますが、場合によっては他の担当医が診察することをご承願いたします。

きたまち



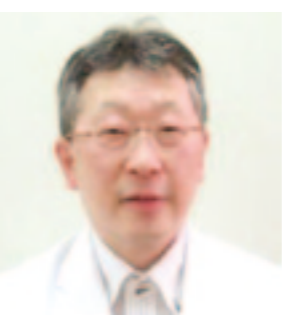
- INDEX
- 01 ■ 病院代表者より
 - 02 ■ 整形外科のお知らせ 整形外科部長新任挨拶
 - 03 ■ 連携医療機関のご紹介 里村医院 里村 元 副院長
 - 04 ■ 手術部 / 麻酔科のご紹介
 - 06 ■ 診療担当医表



病院代表者より

Saitama Northern Medical Center

JCHO さいたま
北部医療センター
院長補佐
中條 洋
診療科 泌尿器科
出身大学 東京慈恵会医科大学
卒業年 昭和62年



当院では6階病棟ワンフロア全てと5階病棟の一部をコロナ専用病棟として対応させていただいております。ピークアウトしているように見えますが、引き続き多くの感染者が入院し、改善しては在宅に戻す。忙しい状態が続いています。

ただwithコロナもこれだけ長い期間となりましたので、コロナに気をつけつつ通常診療を継続するノウハウも身につけました。

熱発者を含め、緊急の診察、入院依頼に対応できる態勢づくりを進めてまいりましたので、ぜひ患者さんのご紹介をお願いいたします。

9月より、整形外科に新しく田中伸哉医師が部長として着任しました。

田中医師は今まで当院では対応困難だった人工関節治療を専門としています。

当院には人工関節手術を行うことを目的にして作られた手術室があります。ようやく本来の目的に利用できるようになります。

足腰を痛めている方がいらっしゃいましたら治療対象かもしれません。ぜひ御紹介をお願いいたします。

オリンピック、パラリンピックも終了し、新型コロナウイルス感染症第5波もピークアウトしたかのように見えています。

埼玉県においても直近1週間の新規感染者数が1000人を下回るようになりました。ピークアウトにつながった理由として人流の抑制がうまくいっている、ワクチン接種が進んでいる、若年者の自然感染による免疫の獲得、気候による影響など様々な意見が言われておりますが、はっきりしているわけではありません。理由がわからないということはいつまた感染者数が増加に転じてもおかしくないということです。病院全体今後も気を引き締めて対応していきます。



掲載内容についてのご相談・ご質問は、下記までご連絡ください。
さいたま北部医療センター 地域医療連携室 TEL. 048-653-7858 (直通) FAX. 048-613-3925

超高齢化社会と医療資源の確保と医学の進歩

JCHO さいたま
北部医療センター
整形外科診療部長
田中 伸哉

診療科 整形外科
出身大学 産業医科大学
卒業年 平成5年



COVID19のパンデミックにより国民も医療資源を確保することの重要性に気づいたかもしれません。しばしば、やり玉にあがっているJCHOですが、さいたま北部医療センターではワンフロア以上をコロナ病棟にするなどできる限りの貢献をおこなっています。問題の本質は、多くの医療機関はCOVID19以前より汲々としており、パンデミック時には医療機関に予備能力が残されていなかったことだと思っています。

医療資源の破綻はすなわち国の衰退に直結します。COVID19問題に苦しむ大阪を見れば火を見るより明らかです。トリクルダウン頼みに府民の医療インフラに使われるべき資本を絞り込んだ結果だとする意見も聞かれます。パンデミック下において、行政は十分な医療を供給もできず規制の押し付けに終始しました。

もちろん、過剰に医療資源に資本を投入することが良いとは思いません。理想は医療資源の効率的な利用による節約と、緊急時にも対応できる予備能力の確保ではないでしょうか。高齢化率のもっとも高い埼玉では本腰を入れて検討すべき課題です。

わたしが2009年に埼玉医科大学に赴任して以来12年が経ちました。その間に人工関節の手術手技も時代の要請にしたがい変化してきたように思います。人工股関節置換術（THA）は、2009年頃は後方侵入が主流だったので、術後には脱臼予防のため外転装具の装着期間が設定され、4～6

週間程度の入院期間でした。しかし、脱臼の少ない前方侵入法の導入により外転装具が不要となり、入院期間は2～3週程度まで短縮しました。さらに最近では中殿筋を温存するOCM法の導入により10日～2週間で患者さん自ら進んで退院されるようになってきました。

人工膝関節全置換術（TKA）においては、コンピューターアシスト（ナビゲーションシステム）の導入により下肢のアライメントを自由に設定できるようになりました。大腿骨頭と膝関節および足関節の中心を直線上に位置させる以前の手術と比較すると、やはり入院期間が2～3週程度に短縮しました。内側の靭帯にかかるストレスと違和感の軽減がより早い日常生活動作（ADL）の回復に寄与していると考えられます。

入院期間の短縮は医療資源の効率的な利用に直結します。つまり、医学の進歩とその導入が理想に近づくkeyになるのではないのでしょうか。以前は、骨粗鬆症患者が椎体骨折をおこすとかかり長い期間入院していましたが、テリパラチドの上市以降、外来で対応できることも多くなりました。さらに言えば、骨粗鬆症患者に対して適切な逐次療法をおこなえば骨折率は確実に減少させられるほどに治療薬も進歩しています。

医学の進歩と医療資源の効率的な利用は結びついています。わたしは手術では人工関節を専門としておこなってきました。この分野においては、常により良い手術を探求し、より効率の良い医療をさいたま北部地域の患者さんに提供していきたいと思います。また、さいたま北部医療センターの外来では骨粗鬆症専門外来も担当しますが、患者さんをご紹介いただけましたら、検査をおこない、結果にコメントを添えてお送りいたします。当院の充実した検査機器を利用し、地域の先生方との連携の中で患者さんの診療をおこないたいと考えています。気軽にご紹介ください。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

4室 手術室の写真4



4室：バイオクリーンルームとして設計されており、主に整形外科手術で使用されます。当院が今の地に移転した後、整形外科常勤体制が実現し、この4室を使う手術が増えてきました。2021年9月からの整形外科診療体制の変更を受け、今後は人工関節手術をメインとした運用に期待が高まっています。

※以上のほか、循環器内科（菅原副院長）で行うペースメーカー挿入や心電図デバイス挿入、腎臓内科（黒田院長）透析チームによるシャント作成手術、皮膚科（山田部長）の局所手術等が、各部屋を効率的に活用しながら、日々滞りなく行われています。

手術症例は眼科、外科、泌尿器科、口腔外科の順に多く、前述のように整形外科が増えつつあります。また循環器内科・腎臓内科・皮膚科の局所麻酔での手術処置も含め、手術件数は2019年度1305件に増え、そのうち全身麻酔を含めた麻酔科管理は2019年から585件と増えてきました。2020年度は新型コロナ渦により若干の症例数減少が余儀なくされましたが、いずれ手術件数は増えてくる勢いです。特にこの1～2年では、4歳のお子さん（口腔外科）から100歳の高齢者（整形外科）の手術まで、急を要する手術（整形外科・外科）にはもちろん可及的早期に応需し、そして時には12時間に及ぶ長時間手術（外科）まで、幅広い手術のニーズに応えられるようになってきたところです。

しかし、麻酔科の現状としては、あらゆる手術に24時間365日即応できるほどのマンパワーは充足し

ておらず、どうしても手術麻酔がメインの対応になるため、痛み外来や慢性痛に対するペインクリニック診療は行っていません。ペインクリニックに関しては、主科の医師と相談のうえ、近隣の開業医の先生方にご紹介をさせて頂いております。

なお、宗教上の理由で輸血に関する治療に一定のお考えをお持ちの患者さんも少なからずいらっしゃいます。当院の方針はホームページから閲覧できますので、いまこの拙文をお読みいただいている先生方におかれましては、患者さんにも当該ページ参照をお勧めいただくとよりスムーズな連携ができるかと存じます。

この手術室が、手術を必要とする地域の患者さんにとって少しでもお役に立てるよう頑張っています。これからもさいたま北部医療センター手術室をどうぞよろしくお願い申し上げます。当院にお立ち寄りの際は、ぜひ2階の手術室までお越しいただき、様子をご覧いただけますと幸いです。

JCHO さいたま
北部医療センター
手術部部長
金子 武彦

診療科 麻酔科
出身大学 慶応義塾大学
卒業年 平成元年



手術部/麻酔科 のご紹介

さいたま北部医療センターは2019年3月に、今の地に移転してまいりました。旧院である社会保険大宮総合病院の伝統を引き継ぎつつ、急性期医療にも力を入れる方向性になり、ここ最近では新型コロナ対応など、地域医療への貢献を目標に掲げております。さて、急性期医療といいますと、まず“手術”というイメージが浮かびます。そして現代医療において、手術と麻酔は切っても切れない関係性があります。当院も2018年7月に2年ぶりに麻酔科常勤医が着任して以降、全身麻酔の比重を高めながらも、従来からの各科局所麻酔での手術も数多くこなし、手術を行う診療科にとって「オペを入れやすい」環境づくりに努めているとことです。

では、手術室をご紹介します。計4室がございます。



1室：当院では最多手術件数を誇る眼科の局所手術（小池副院長）を中心に運用しています。もちろん他

科の全身麻酔にも対応可能です。手術室フロアの入り口近くに位置していることから、外来/日帰りの局所麻酔（皮膚科・整形外科）もこの1室で行うことが多いです。



2室：広さの面から「中」オペ室と呼ばれることもあります。前立腺の生検手術やレントゲン併用の尿路へのアプローチ処置、経尿道的手術など泌尿器科（中條院長補佐）と口腔外科（鈴木部長）をメインに行う手術室です。



3室：オペ室の中で一番広い部屋で、「大」オペ室とも呼ばれます。外科（植松部長、神宮部長）の様々な手術や下部消化管の腹腔鏡（塩川部長）の手術のほか、泌尿器科の腎臓・尿管・膀胱・前立腺の開腹手術など、比較的侵襲性の大きな長時間手術を行う手術室です。

Saitama Northern Medical Center

連携医療機関のご紹介



Vol.13

里村 元 副院長 里村医院

【住 所】 埼玉県さいたま市
北區植竹町 1-157
【TEL】 048-663-2158
【診 療 科】 内科・小児科・
皮膚科



診療時間表

外来診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
	院長	副院長	院長	副院長	院長	※2		
9:00～13:00 〔最終受付時間 12:45〕	○	○	※1	○	○	○	休	休
16:00～18:00 〔最終受付時間 17:45〕	○	○	休	○	○	休	休	休

※1 第1、3、5水曜日 終日休診 ※1 第2、4水曜日 午前中のみ診療
※2 第1、3、5土曜日 副院長 ※2 第2、4土曜日 院長
（ただし、変動の可能性がございますので、詳しくはお問合わせ下さい。）

この度、さいたま北部医療センターと協力医療機関として連携協定を締結していただきました。里村医院の里村 元先生へ日頃の感謝の気持ちを込めてインタビューをさせていただきました。

① 診療案内について

東武アーバンパークライン（東武野田線）「北大宮駅」から徒歩6分、お車でご来院の場合、当院前に3台、隣接に7台完備しております。
内科、小児科、皮膚科、在宅医療と幅広い診療体制で、すべての患者さんに対して、心のこもった診療をいたします。患者さんの立場に立って、優しい気持ちで対応し、気軽に質問できる雰囲気での診療に努めております。

② アピールポイントや診療時に心掛けている事について

1954年の開院以来、60年以上3代にわたり地域の患者さんのかかりつけ医として診療に取り組んでおります。0歳児から高齢の方まで幅広い年齢層で診療をしており、専門としている老年内科では「もの忘れ外来」を開設し認知症の専門外来として、予防・早期診断に努めております。また生活習慣病であります高血圧、脂質異常症、糖尿病、痛風などの原因となる高尿酸血症の管理にも力を入れており、また心筋梗塞や狭心症などで入院して治療を受けた患者さんのフォローなども行っております。さらに訪問診療や特別養護老人ホームの嘱託医も担っております。そして地元医師会が推進している地域包括ケアシステムの推進活動にも尽力させて頂き、地域の患者さんが住み慣れた地域で幸せに生活ができる様にと考えております。

③ さいたま北部医療センターをどの様な時に、ご利用して頂いておりますか？

普段診ている患者さんで、当院ではできない検査や手術を依頼する、或いは今すぐ入院が必要な病状の時にさいたま北部医療センターへご紹介をさせて頂いております。当院からも比較的近くにある急性期病院ですので非常に頼もしい病院だと思います。
また、CT、MRIや内視鏡検査などのご紹介は、適切な情報を頂く事ができ日々の診療で助かっております。

④ 当院について何かご意見が有ればご教授ください。

専門診療科の予約がしやすくなれば、よりご紹介がしやすくなると思っております。

⑤ 今後のさいたま北部医療センターへ期待していることが有ればご教授ください。

上記に記載の通り当院で診る事が難しい時、特に入院加療が必要な時となりますが、その様な時に地域の中核を担う病院として可能な限り引き受けて頂けたらと思います。新型コロナウイルス感染症の流行も重なり、貴院に求められる事は多岐に渡るとは思いますが、互いに手を取り合い良好な連携関係の元、一緒に地域医療に貢献していけたと考えております。今後とも末永くよろしくお願いたします。